

要 望 書

～熊本港の整備促進について～



令和 7 年（2025 年） 7 月

熊本県

熊本連携中枢都市圏

熊本港振興協会

熊本港ポートセールス協議会

熊本商工会議所

熊本経済同友会

熊本県工業連合会

熊本都市圏の物流・人流の拠点であります熊本港は、港を建設する上で、超軟弱地盤及び大潮位差といった厳しい自然条件であるにもかかわらず、これまで、国のご尽力により港湾施設の整備を着実に進めていただいております、関係者一同深く感謝申し上げます。

また、平成 28 年熊本地震以降念願であった『耐震強化岸壁』の整備について、昨年 6 月に着工いただきまして、厚く御礼申し上げます。

さて、平成 28 年熊本地震では、熊本港が支援物資や給水、入浴支援の防災拠点として機能し、防災面からもその重要性を認識しました。

令和 6 年 1 月に発生した能登半島地震をはじめ、全国各地で地震が頻発する中、大規模災害発生時において真に災害に強い九州の防災拠点としての役割を担っていくためには、耐震強化岸壁の 1 日も早い整備を図る必要があります。

物流面では、令和 5 年 4 月に熊本港と神戸港を結ぶ「国際フェーダー航路」が就航し、コンテナ取扱貨物量は堅調に増加しています。

また、熊本港の背後圏では、TSMC の国内第一工場が稼働開始するとともに、国内第二工場の建設についても敷地造成工事が始まっています。これらに伴い、熊本都市圏では半導体関連産業の集積や設備投資が活発化しており、新たな工業団地が次々に整備されています。

さらに、令和 7 年 4 月には中九州横断道路「熊本環状連絡道路」が新たに事業化されており、今後、中九州横断道路や熊本西環状道路等の道路ネットワーク整備が進むことにより、企業集積地と熊本港の速達性、定時性が飛躍的に向上することから、物流拠点としての重要性が一段と高まり、更なる海上物流需要の増大も見込まれます。

これらの物流需要に対応するために、令和 7 年 1 月には 2 基目となる新たなガントリークレーンを導入し、物流機能の向上を図ったところであり、今後は、ふ頭用地の整備も予定しております。

また、工業用地についても、第二次分譲地約 11 ha の分譲が進むなど、熊本港の更なる機能拡大と利用促進が期待されます。

熊本都市圏の更なる発展のためには、高規格道路と熊本港の整備により高度な物流ネットワークを早期に構築し、ニーズに応じた様々な荷物を熊本港へ確実に集約することにより、利活用促進を図ることが重要と考えています。

引き続き国・県・市町村・民間団体と連携しながら、熊本港の利用拡大及び利用促進にも取り組んでまいります。

港湾は、わが国における経済や国民生活を支え、地域においても活力を創造し、基幹産業の競争力強化に資するなど、極めて重要な社会基盤です。

企業のBCPについては日本の経済安全保障の観点から、大規模災害時にも半導体サプライチェーンを維持し、物流・防災拠点として背後圏企業の事業継続を支援していくためには、熊本港の耐震強化岸壁の早期完成とともに、港湾関係予算の総枠を確保すること、また、港湾の的確な維持管理や危機管理の充実、市町村への技術的支援などを担う九州地方整備局の組織や人員を拡充し、体制強化を図ることが必要です。

つきましては、下記要望事項について、格段のご高配を賜りますよう、お願いいたします。

記

- 一 熊本港の耐震強化岸壁の早期整備
- 一 港湾関係予算の総枠の確保
- 一 九州地方整備局の体制強化

令和7年（2025年）7月

熊本県

熊本県知事 木村 敬

熊本連携中枢都市圏

熊本市長	大西一史	長洲町長	田成修一
荒尾市長	浅田敏彦	和水町長	石原佳幸
玉名市長	藏原隆浩	大津町長	金田英樹
山鹿市長	早田順一	菊陽町長	吉本孝寿
菊池市長	江頭実	高森町長	草村大成
宇土市長	元松茂樹	西原村長	吉井誠
宇城市長	末松直洋	南阿蘇村長	太田吉浩
阿蘇市長	松嶋和子	御船町長	藤木正幸
合志市長	荒木義行	嘉島町長	鍋田平
美里町長	上田泰弘	益城町長	西村博則
玉東町長	前田移津行	甲佐町長	甲斐高士
南関町長	佐藤安彦	山都町長	坂本靖也

熊本港振興協会

会長 久我彰登

熊本港ポートセールス協議会

会長 大西一史

熊本商工会議所

会頭 久我彰登

熊本経済同友会

代表幹事 平田雄一郎

熊本県工業連合会

代表理事会長 宮村宜明

1) 平成28年熊本地震

- 平成28年熊本地震では、海上保安庁や九州地方整備局による給水、入浴支援が実施された。
- また、国や県の迅速な対応により、港湾機能が早期に復旧され、復旧後は支援物資・災害廃棄物の輸送拠点としての役割を果たした。



地震後の熊本港の動向

	4月					5月			6月			
	14	15	16	17	22	23	2	15	31	1	13	30
フェリー岸壁	◆ フェリー運休					▶ 通常運行開始						
-4.5m岸壁	◆ 給水支援 九州地方整備局					◆ 支援物資仮置き (-4.5m岸壁背後地) 福岡市			◆ 災害廃棄物の海上輸送			
	◆ コンテナ船運休					▶ 通常運行開始						
-7.5m岸壁	◆ 給水、入浴支援 海上保安庁					◆ 宿泊支援 帆船「みらいへ」						

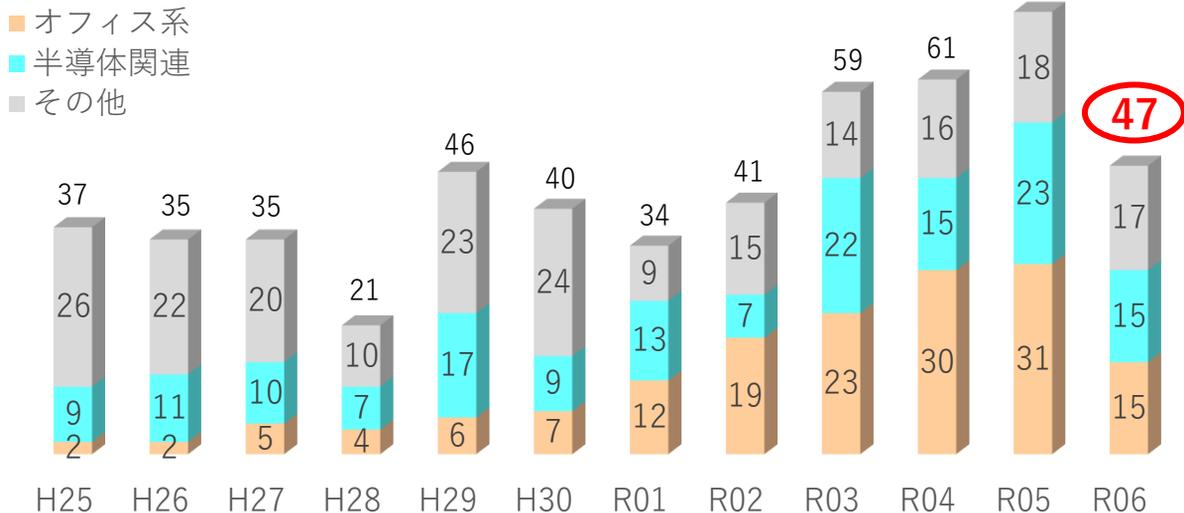


1) 企業立地の状況

【県内立地企業件数が過去最多を記録！】

- ▶ 熊本港の貨物需要を支える県内への企業立地件数は、令和5年度に過去最多の72件を記録。
- ▶ 令和6年度は47件と減少したものの、引き続き高い水準維持。
- ▶ 世界有数ともいえる半導体関連企業の集積地である熊本都市圏は、台湾の半導体受託生産最大手であるTSMCの進出を受け、今後もさらなる企業立地が期待できる。

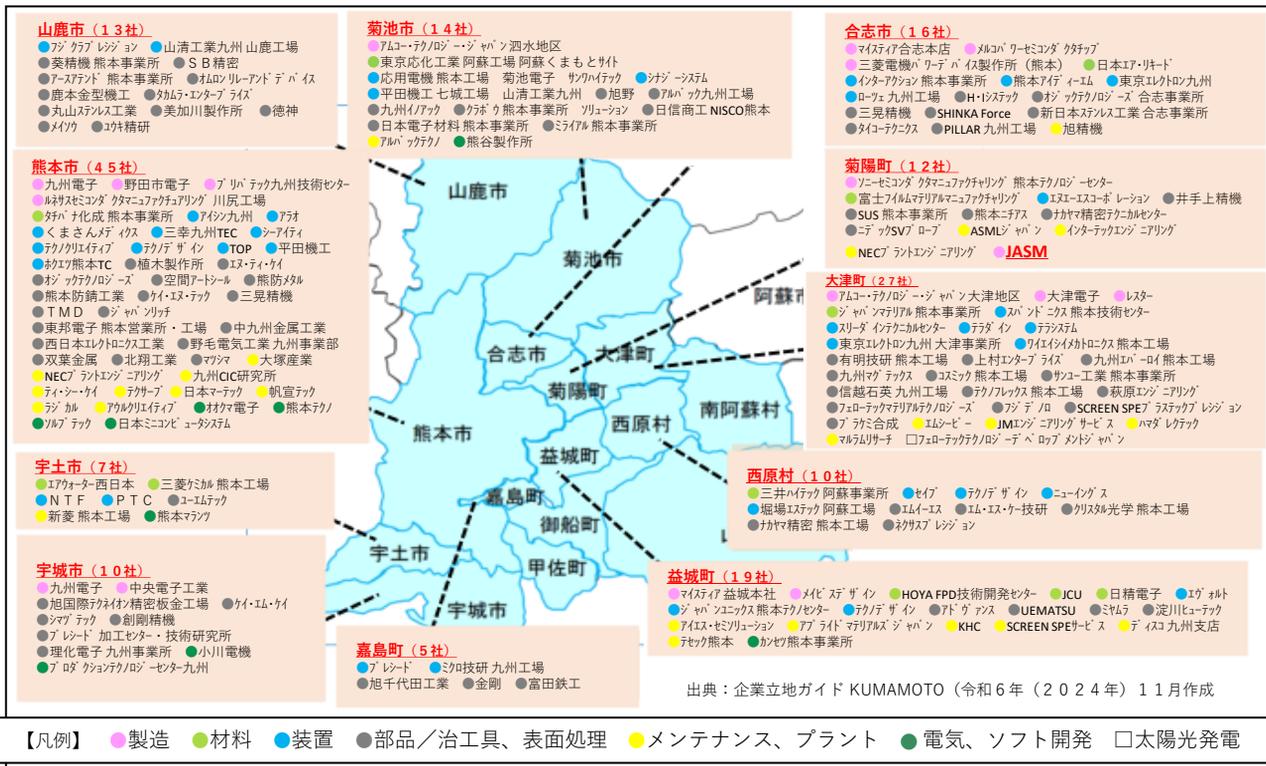
熊本県内の企業立地件数



2) 半導体関連企業の集積状況

【半導体関連企業の立地が加速！】

- ▶ 九州は全国の半導体生産額の4割程を占めており、中でも清冽で豊富な地下水量を誇る熊本県においては多くの半導体関連産業が集積。
- ▶ 台湾の半導体受託生産最大手であるTSMCの熊本県への進出以降、半導体関連企業の熊本県への進出の動きが加速。
- ▶ 令和6年度の半導体関連企業の立地件数は15件。現在も、多方面に進出に係る問い合わせ等が寄せられている。



【凡例】 ● 製造 ● 材料 ● 装置 ● 部品/治工具、表面処理 ● メンテナンス、プラント ● 電気、ソフト開発 □ 太陽光発電

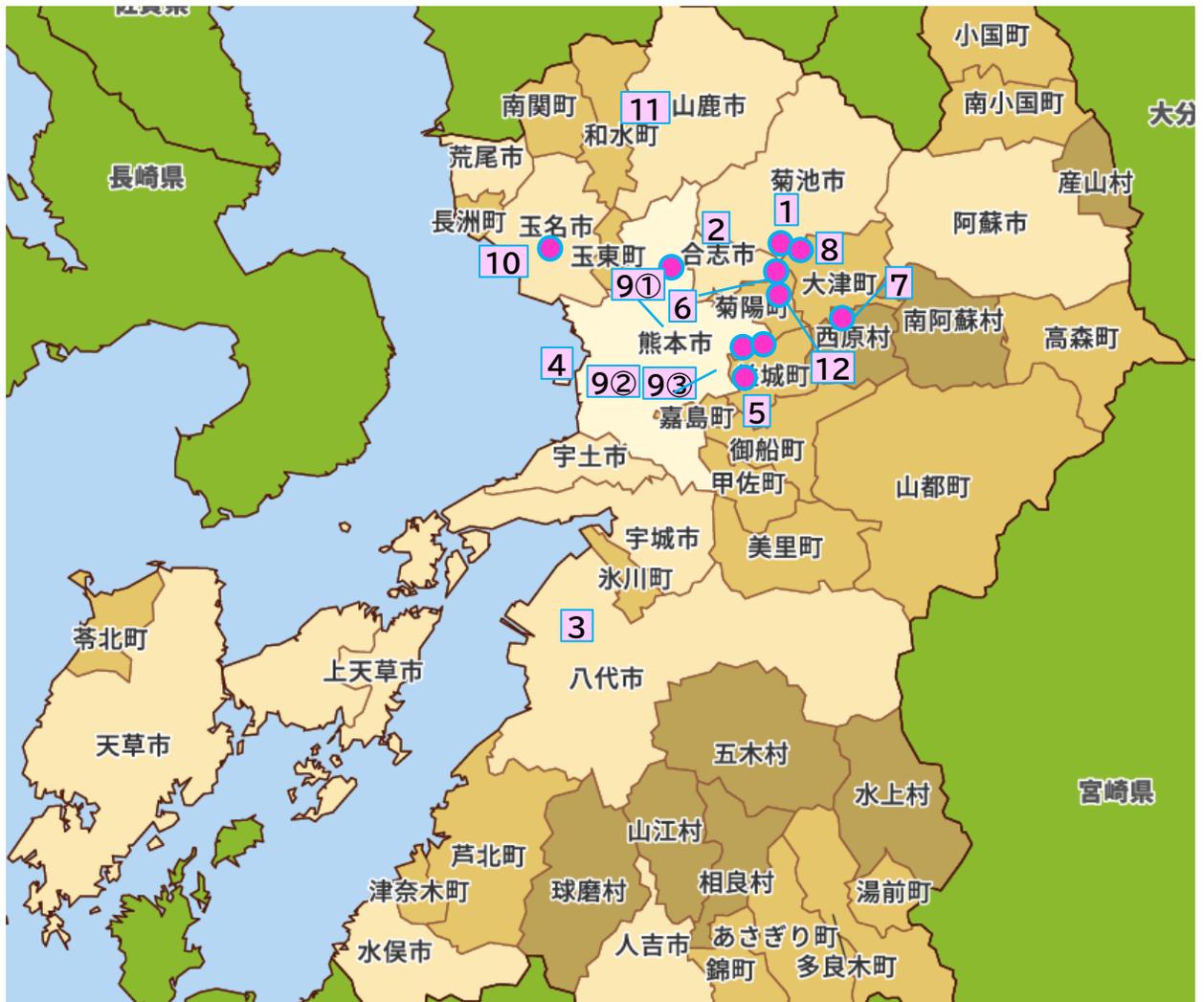
3) 工業団地の整備計画

【新たな工業団地計画が続々と！】

➤ 県内の工業団地の空き区画は限られており、熊本県や市町村において複数の新しい工業団地の整備計画が進められている。

工業団地の整備計画

No.	整備自治体	想定面積	整備場所	分譲開始予定時期	No.	整備自治体	想定面積	整備場所	分譲開始予定時期
1	熊本県	約25ha	中九州横断道路沿い (菊池テクノパーク西側)	調整中	7	西原村	約12ha	西原村鳥子 (現鳥子工業団地東側)	分譲済 (未引き渡し)
2	熊本県	約25ha	中九州横断道路沿い (合志市)	調整中	8	大津町	約10ha	中九州横断道路沿い (大津西IC設置予定地北東側)	令和9年度中 (予約分譲)
3	熊本県	約25ha	八代市周辺	令和10年度	9	熊本市	約45ha	市内3エリアで官民連携の 産業用地の整備を検討 ①北熊本SIC付近 ②県道熊本空港線 ③国道443号沿線	①②調整中 ③分譲済 (未引き渡し)
4	熊本県	約11ha	熊本港	分譲中	10	民間・ 玉名市	約25ha	玉名市三ツ川地内	分譲中
5	益城町	約9ha	益城町惣領・福富付近	令和7年度中 (予約分譲)	11	山鹿市	約10ha	山鹿市名塚付近	令和11年度
6	合志市	約11ha	合志市福原付近 (セミコンテクノパーク西側)	令和7年度中 (予約分譲)	12	菊陽町	約24ha	菊陽町原水 (TSMC熊本第1工場南側)	令和13年度



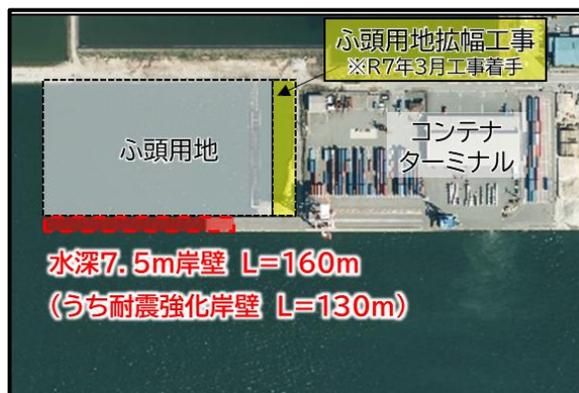
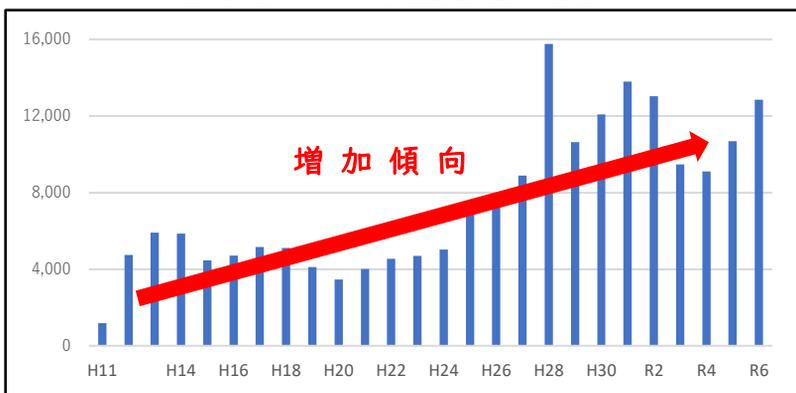
※現時点の予定であり、面積、場所等は変更となる可能性がある。

1) 国際フィーダー航路に対するニーズの高まり

【熊本港と神戸港を結ぶ国際フィーダー航路を活用したコンテナ取扱貨物が大幅に増加】

- ▶ 令和5年4月の国際フィーダー航路の新規就航以降、コンテナ取扱量は堅調に推移。
- ▶ 加えて、令和7年1月の新たなガントリークレーンの供用開始や今後予定されているふ頭用地の整備によるコンテナヤード拡張、道路網整備の促進等、熊本港の更なる利便性の向上が期待される。
- ▶ 企業ヒアリングの中でも、熊本港を活用した神戸からのフィーダー航路の更なる活用を検討するなどの潜在貨物需要も確認され、将来的なコンテナ取扱量の増加が見込まれる。

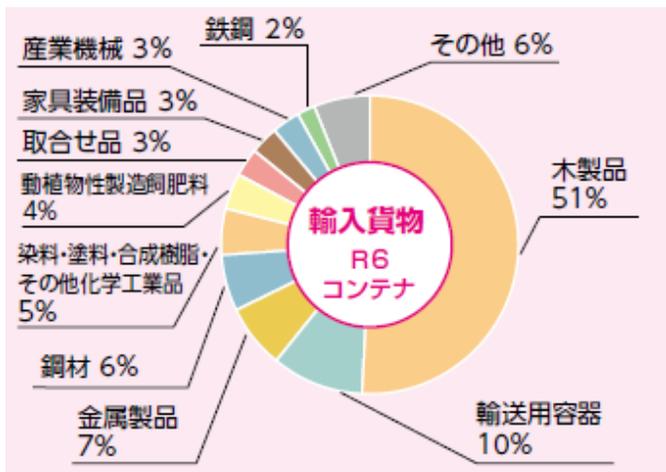
熊本港コンテナ取扱貨物量の推移



2) 企業集積に伴う取扱貨物量の増加

【産業人口流入に伴う木製品（住宅建材）の輸入コンテナ数が増大！】

- ▶ 令和6年の輸入貨物コンテナのうち、木製品が51%（全体1位）を占める。
- ▶ TSMC工場建設地である菊陽町を含む熊本県郡部の貸家の着工件数は、令和5年に引き続き、令和6年も全国で1番目に多い。
- ▶ 新たな工業団地の計画もあり、今後も産業人口の増加による輸入量増加が期待できる。
- ▶ さらに、各企業の操業以降は、材料等の輸入増、製品の輸出増も期待できる。



令和6年輸入コンテナ貨物種別割合
熊本県企業立地課調べ

	貸家新設	
	戸数	床面積合計(m ²)
R4熊本県郡部	1,178	63,274
R4全国平均	267	14,889
R5熊本県郡部	2,109	105,506
R5全国平均	289	15,963
R6熊本県郡部	2,889	135,687
R6全国平均	312	16,739

熊本県郡部における新設貸家の着工数
データ：国土交通省『住宅着工統計』より

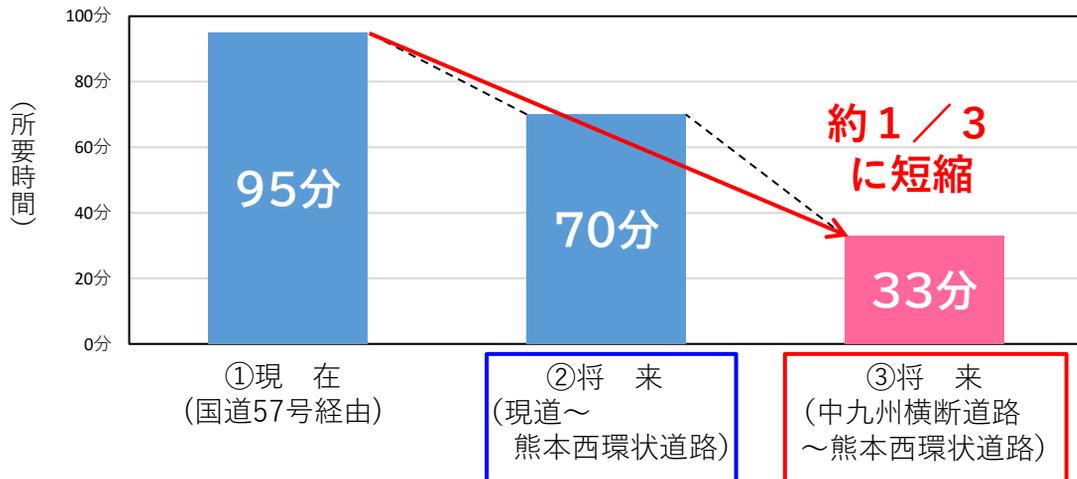
1) 熊本都市圏の道路ネットワーク整備

【道路ネットワーク整備とともに高まる物流拠点熊本港の重要性！】

- 着実に整備が進む中九州横断道路や熊本西環状道路により、熊本港からTSMCの所要時間が現在の約3分の1に短縮。物流輸送が効率化され、熊本港の利便性が向上。
- 熊本港が海上輸送の役割を發揮し、道路ネットワークとともに物流の効率化に寄与するためには、耐震強化岸壁の早期整備が必要。
- 更なる熊本港の港湾機能強化のため、接続する道路ネットワークの整備と歩調を合わせる事が重要。



TSMC (菊陽町) → 熊本港



出典：ETC 2.0プローブデータ (R2.9～11) 混雑時旅行速度より算出 (砂原四方寄線・大津熊本道路は設計速度)

高規格道路による時間短縮効果